

平成24年度
藤枝市教育委員会事業評価報告書

平成25年2月
藤枝市教育委員会

－ 目 次 －

事業評価の導入の要旨	P 1
平成 2 4 年度事業評価	P 1
事業評価対象事業一覧	P 3
各事業の評価報告	P 5
教育委員の活動状況報告	P 1 2

I. 事業評価の導入の要旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「法」という。）が改正され、効果的で着実な教育行政が執行されているかどうかについて、事後に点検・評価し、また、地域住民に公表することで活動を充実することとなりました。

法は、平成20年4月1日より施行され、当市も同法第27条の規定に基づき藤枝市教育委員会の事業評価を実施することとなりました。

【地方教育行政の組織及び運営に関する法律】（抜粋）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

【要旨】

- ①毎年、実施すること。
 - ②教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うこと。
 - ③点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図る。
 - ④その結果に関する報告書を作成し、議会に報告するとともに公表すること。
- 以上の項目について実施することが義務付けられた。

II. 平成24年度事業評価

1. これまでの事業評価

教育委員会が実情を踏まえて決定し、既に事務の管理・執行について評価を行っている場合は、その手法を活用することが可能とのことから、平成21年度より市が導入している「藤枝型NPM（新公共経営）」に伴う「全事業の総点検」において、当年度の事業点検・評価及び新年度予算への反映等について、「行政サービス評価委員会」から意見や提案として提出されてきました。

また、平成22年度より議会改革の取り組みとして設置された「決算特別委員会」（議員を決算と予算の特別委員会に分け、市の全体事業を一括審査することで、全体的・体系的に審査し、適正な行政運営を確保及び翌年度の予算編成

に対し、効果的な提言を行うことを目的とする。) においては、「全事業の総点検」の資料を基に審査及び評価され、抽出された事業への意見・提案及び次年度予算編成への提言がされております。

その他には、安心・安全な学校づくり交付金を活用した施設整備については、外部の有識者を含めた委員会が施設整備計画の事後評価を実施し、文部科学省に報告することとなっていることから、「藤枝市まちづくり交付金評価委員会」に評価及び意見を求めています。

については、これらの教育委員会の事業部分の評価及び意見、提言の内容を「教育委員会事業評価」に活用していくものであります。

2. 平成24年度事業評価報告書の議会報告と公表

前項目の内容等を踏まえ、平成24年度の市議会の「決算特別委員会」及び「藤枝市まちづくり交付金評価委員会」において教育委員会の事業を含めた全事業の総点検が実施されており、両会においても、

- ①決算特別委員会は、毎年実施する。
- ②教育に関する事務を含め市の全事業の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う。
- ③点検・評価を行うに当たっては、議員は広く学識経験を有する者であり、その知見の活用を図られる。
- ④その結果については、議会で「決算審査記録」が作成され、市に提言されるとともに議会だより、市のホームページにより公表される。また、行政サービス評価委員会における全事業の総点検結果の審議状況について市のホームページにより公表される。

以上のように法により義務付けられた事項を含む点検・評価が実施されていることから、この両会での評価内容を活用し、「教育委員会事業評価報告」を作成しました。

尚、「行政サービス評価委員会」については、平成24年度は平成25年2月に開催予定であり、今回は教育委員会の事業は対象としない予定であるため、意見、提案の掲載はありません。

平成24年度 藤枝市教育委員会事業評価対象事業一覧

No.	事業名	事業内容	課名	評価機関
1	小中学校接続英語教育プラン事業	英語でコミュニケーションができる力を身につけるために全中学校区にALTを配置	学校教育課・駅南図書館	議会決算特別委員会
2	心の教室相談員活用事業	生徒の不登校等の要因となっている悩み、不安、ストレス等を学校で身近にいる相談員が対応		
3	子どもと親の相談員活用事業	不登校等を未然に防ぐために児童生徒とその親に対しての学校における相談員の配置		
4	図書購入費	図書館の利用者に対して、必要な資料・情報の提供を行うための図書購入		
5	エコノミックガーデニング推進事業	地元企業が成長しやすい環境を整備するための資料提供		
6	【繰越明許費】 校舎地震対策整備事業 (西益津小学校)	耐震性能ランクⅡの西益津小学校校舎南棟の耐震補強工事	教育政策課	まちづくり交付金評価委員会
7	【繰越明許費】 校舎地震対策整備事業 (青島小学校)	耐震性能ランクⅡの青島小学校校舎の耐震補強工事		
8	【繰越明許費】 校舎地震対策整備事業 (高洲南小学校)	耐震性能ランクⅡの高洲南小学校校舎の耐震補強工事		
9	【繰越明許費】 校舎地震対策整備事業 (広幡中学校)	耐震性能ランクⅡの広幡中学校特別校舎棟の耐震補強工事		
10	【繰越明許費】 校舎地震対策整備事業 (岡部中学校)	耐震性能ランクⅡの岡部中学校特別校舎棟の耐震補強工事		

各事業の評価報告

事業名	小中学校接続英語教育プラン事業		所管課館名	学校教育課	事業No.	1
事業の概要及び目的	<p>児童生徒の英語運用能力や国際感覚の育成を図るため、中学校では平成元年度から英語指導助手を活用した英語授業に取り組んできた。また新学習指導要領の実施により小学校（5・6年生）にも外国語活動の授業が開始され、小中学校5年間を意識しながら英語教育に取り組んでいる。</p>					
事業費	H23 決算	23,888,000 円	財源内訳	〔市費〕	23,888,000 円	
				〔国県補助金〕	0 円	
	H23 予算	27,200,000 円	財源内訳	〔市費〕	27,200,000 円	
				〔国県補助金〕	0 円	
事業内容	<p>小中学校5年間（小学校5年生～中学校3年生）を意識しながら、中学校区にALT（英語指導助手）を配置し、巡回指導を実施した。中学校に派遣してきた業務委託は今後継続しないで、JETプログラムによるALTや地域人材を雇用しながら指導を実施する体制作りを進めた。平成23年度は合計16人のALTを活用しながら小・中学校に週1回ALTが授業に参加し、指導を実施した。（小中学校とも年間35時間程度配置）</p>					
評 価						
進捗（決算）についての評価						
① ALTの活用を拡大強化したことにより、児童・生徒が笑顔になり、学校が明るくなったり、内気な子どもが外に向かって表現が出来るようになるなど良い影響が出ている。						
② 県内の市町に先駆けて教育日本一の指針で英語教育に果敢に取り組んでいる姿勢は大きく評価する。予算の執行においても適当と認めたい。						
③ ALTの委託契約方式を取りやめる方向性は適当と評価する。						
課題解決に向けての意見・提案						
① ALTが増えることにより、指導力の格差が起こると思われるため、講師間での交流を行うことで指導内容の質の向上に努めてほしい。						
② 中学校でも新学習指導要領に基づいた授業が本格実施となってきた中で、中学卒業段階で簡単な日常会話が出来るための段階を踏んだ授業を実施されたい。						
③ 全て直接雇用にしたのは現場の混乱がなくなり歓迎したい。一緒に指導する教員とALTの打ち合わせや、子供にとって過重な負担とならないかという点に留意が必要。						
翌年度予算編成への提言						
① 緊急雇用の事業費での対応だが、事業廃止後も市単での予算付けをし、教育日本一を目指して欲しい。						
② ALTの増員と小中学校の連携推進が図られるような予算を望む。						
③ 事業名と事業内容の統一が図れないか。（ALT関連がいくつにも分かれている）						

事業名	心の教室相談員活用事業		所管 課館名	学校教育課	事業No.	2
事業の概要及び目的	生徒の不登校の要因となっている悩み、不安、ストレス等を学校で身近にいる相談員が対応し、心にゆとりを持って学校生活を送れるようにする。 市内全中学校（10校）に相談員を配置					
事業費	H23 決算	3,351,000 円	財源 内訳	[市費]	3,351,000 円	
					[国県補助金]	0 円
	H23 予算	3,320,000 円	財源 内訳	[市費]	3,320,000 円	
					[国県補助金]	0 円
事業内容	各学校における相談員の活動が確立されてきたことに伴い、生徒の悩みや不安などを軽減するための相談等の活動の充実が図られている。平成23年度は延べ4,550人の生徒へ対応しており、前年度に対して若干減少したが、相談者数や相談件数は逆に増加している。相談員一人当たり約60人の生徒と相談活動をしており、相談員がじっくり生徒と向き合いながら対応することで、生徒の不安やストレスを和らげながら、学校生活を送ることができている。					
評 価						
進捗（決算）についての評価						
① 思春期でもあり、小学生よりも対応が難しい中で、相談員の存在は貴重である。各学校に相談員の配置が出来たことを大きく評価する。						
② 社会問題化している生徒の学校生活を考えると重要な事業であると評価する。						
③ 一般財源での数々の学校への支援の取組みは評価したい。						
課題解決に向けての意見・提案						
① 今の教育環境から考えると、ますます必要性が求められるのではないか。勤務日数の見直しとスキルアップを求めたい。						
② 常時配置も含め、相談員活用のあり方を再検討することが大切である。						
翌年度予算編成への提言						
① 心に悩みを抱える生徒が気楽に相談できる体制を整えることは重要な事業であることから継続すべきである。						
② 学校規模によって柔軟に対応できる相談員の複数配置や連携を強化されたい。						
③ 配置の充実へ向けた予算化が必要である。						

事業名	子どもと親の相談員活用事業		所管 課館名	学校教育課	事業No.	3
事業の概要及び目的	学校だけでは対応しきれない困難な問題が多くなっている中、心に悩みを抱える児童や保護者との面談、あるいは電話による相談等を実施し、心の安定を図ったりしている。相談員は、市内小学校10校に相談員を配置し（配置校は市で決定する）、不登校の未然防止や早期発見・早期対応なども図る。					
事業費	H23 決算	3,293,000 円	財源 内訳	[市費]	3,293,000 円	
				[国県補助金]	0 円	
	H23 予算	3,259,000 円	財源 内訳	[市費]	3,259,000 円	
				[国県補助金]	0 円	
事業内容	<p>児童が安心して学べる学校であるために相談員の活動を配置学校で工夫しながら、行ってきた。</p> <p>平成23年度は配置されている10校で9,475人の児童や保護者に対応し、教員とは違った目線で接することで、児童が気楽に相談ができています。</p> <p>また、相談があった児童等の見守りをするなど、児童が安心して学校生活を送れるようになるなど、相談業務だけではなく部分での必要性も増加している。</p>					
評 価						
進捗（決算）についての評価						
① 一般財源を活用しての積極的な事業化は評価する。						
② 単純に費用対効果を数字で示しにくい事業であるが、児童や保護者に対応した人数から、評価する。						
③ 事業としての効果は高いものがあったと考えるが、全校配置でなかったことでの課題も見られた。						
④ 親の相談に対する対応の状況が見えにくい。（子どものことなのか、親自身のことなのか。）						
課題解決に向けての意見・提案						
① 常日頃、子供と関わっている教員との連携の部分を重視するべきである。						
② 相談員の無配置校へのフォローは実施されているが、相談件数に拘らず現場の教職員の負担を少しでも軽減する措置が必要である。						
③ 親自身の相談への対応も必要。						
翌年度予算編成への提言						
① 24年度から全小中学校への配置がされ、相談体制が充実したと思われるため事業の継続を求める。						
② 十分な相談体制を取るために必要な予算措置をされたい。						

事業名	図書購入費		所管課館名	駅南図書館	事業No.	4
事業の概要及び目的	暮らしの中での疑問、趣味に関わる情報から、資格、就業、キャリアアップなど生活全般に関わる情報や、調査研究などに対応する資料・情報を求めて来館する利用者に対して、必要な資料・情報の提供を行うため、図書資料の充実を図る。					
事業費	H23 決算	59,333,000 円	財源内訳	[市費]	59,333,000 円	
				[国県補助金]	0 円	
	H23 予算	60,000,000 円	財源内訳	[市費]	60,000,000 円	
				[国県補助金]	0 円	
事業内容	<p>図書資料年間購入予定28,000冊が31,187冊の購入となった。</p> <p>【施設別蔵書数】 駅南図書館 244,725点 岡出山図書館126,610点 岡部分館42,113点 移動図書館4,111点 市内公民館 59,487点 合計477,046点</p> <p>また、図書購入費60,000千円は、法人市民税の超過課税を基金に繰入れて運用しているが平成23年度にて基金繰入が終了する。</p>					

評価

進捗（決算）についての評価

- ① 年々、図書館の利用者が増えている現状から、図書館整備は順調に進んでいると評価する。
- ② 駅南図書館とその他の図書館での利用者数の格差について、各図書館の特徴のPRが不十分の感があった。
- ③ 目標冊子数達成への基金活用が図られても良かったのではないかな。

課題解決に向けての意見・提案

- ① 25年以降の購入費の確保のため、5年程度の図書購入計画を立てるべき。
- ② 図書館ごとの蔵書の特色付けを明確にされたい。
- ③ 基金残高の減少に伴う財源確保対策を検討されたい。

翌年度予算編成への提言

- ① 指標は一つの目途となるので、そのための予算措置は必要である。
- ② 岡部図書館の新設で図書館数が3館となる。それぞれの特徴のある図書館であってもいいと思うが、偏った蔵書の配置や市民の求めている本については市民サービスに差が生じないように配慮されたい。新刊図書は平等に配置されたい。
- ③ 各図書館の特長を生かし、購入すべき図書の分類を行う中で、適正な図書購入をされたい。

事業名	エコミックガーデニング推進事業費		所管課館名	産業政策課 駅南図書館	事業No.	5
事業の概要及び目的	<p>1990年代初頭に米国コロラド州で導入された企業誘致を「ハンティング」と認識し、地域の中小企業を育むための環境づくりを「ガーデニング」に例えた経済戦略。</p> <p>「産学公民金」の地域内連携を強化することにより、市内の中小企業の育成と長期的な安定成長を図るための支援策・支援体制を構築し、地元企業が成長しやすい環境を整備する。</p>					
事業費	H23 決算	59,333,000 円	財源内訳	[市費]	59,333,000 円	
				[国県補助金]	0 円	
	H23 予算	60,000,000 円	財源内訳	[市費]	60,000,000 円	
				[国県補助金]	0 円	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・『エコミックガーデニング』についての勉強会開催 (6月市幹部職員対象、7月商工会議所、商工会対象) ・エコミックガーデニング推進協議会準備会開催(10月、3月) ・エコミックガーデニング推進都市連絡協議会開催(3月) (秋田県にかほ市、徳島県鳴門市、栃木県足利市、神奈川県平塚市) ・駅南図書館にビジネス支援コーナー開設支援(3月) <p>※成果として、取組みの中心的役割を担う関係者の事業認識の醸成を図ることができた。</p>					

評価

進捗（決算）についての評価

- ① 全国的にも珍しい新たな事業であると評価できる。
- ② 基礎作りの年であったと評価する。
- ③ 事業規模としては適当。
- ④ 駅南図書館のコーナー開設や事業認識の醸成が図れたとあるが、まだまだ一部の認識に留まっているように感じる。職員の満足だけではなく結果が伴うような事業とされたい。

課題解決に向けての意見・提案

- ① 促進のための体制づくりとその強化に取り組まれない。
- ② エコミックガーデニングに馴染めない企業が多いように感じるため、各種団体に委ねるだけでなく企業訪問を積極的に実施すると同時に6次産業も視野に入れた取り組みをされたい。
- ③ 「産・学・官・民・金」の連絡協議会を設置し、定期的な取り組みへの話し合いの場を設けたらどうか。

翌年度予算編成への提言

- ① 事業が、大きく目に見える形で予算を組まれない。
- ② ピックアップ企業へのヒアリングなどのデータを取りまとめ、将来の展開に支援をするということから継続されたい。
- ③ 体制づくりと強化に向けて対応してほしい。

事業名	校舎地震対策整備事業		所管課館名	教育政策課	事業No.	6～10
事業の概要及び目的	昭和56年5月以前の旧建築基準の学校施設の耐震化対策は、平成17年度から耐震性能ランクⅢ(県判断基準)の校舎及び屋内運動場については、平成21年度で全て終了し、平成22年度予算(平成23年度繰越)により、耐震性能ランクⅡの5校7棟の耐震補強工事を実施することにより、藤枝市の学校施設の耐震対策はすべて完了する。					
事業費	H23決算	276,117,500円	財源内訳	[市費]	168,385,500円	
				[国県補助金]	107,732,000円	
	H23繰越分	295,800,000円	財源内訳	[市費]	188,068,000円	
				[国県補助金]	107,732,000円	
事業内容	<p>市立小中学校の耐震性能ランクⅡ以下の校舎の耐震化工事はH23年度をもって全て完了。 全国の目標基準に加え、東海地震に対応した静岡県目標基準を達成。</p> <p>①西益津小学校校舎(RC3階建て 延べ1,148㎡) ②青島小学校校舎2棟(RC2階建て 延べ1,300㎡、RC3階建て 延べ919㎡) ③高洲南小学校校舎2棟 (RC4階建て 延べ3,493㎡、RC3階建て 延べ1,644㎡) ④広幡中学校校舎(S造平屋建て 延べ288㎡) ⑤岡部中学校校舎(RC3階建て 延べ1,701㎡)</p>					
評価						
必要性						
① 市議会での一般質問や地元自治会及びPTAからの要望が提出されるなど市民のニーズが高い。						
② 耐震改修促進法に基づき、学校施設の特定建築物は耐震改修を行う義務が課せられている。						
③ 市の施設である学校については、児童・生徒が安全で安心して学習できる環境を整備する必要性があり、税金を投入して行うべき事業である。						
有効性						
① 市の第五次総合計画において位置づけられていて、安心して学べる教育環境を整備することが確かな学力向上にもつながる。						
② 学校施設の安全性が確保されることにより、地域住民にとっても地震時の避難施設としての機能が向上する。						
公平性						
① 児童・生徒及び教職員のほか、各学校は指定避難所となることから各地区の住民の受益性も高い。						
② 義務教育施設の維持管理は、市の義務であるため受益者負担はない。						
成果	<p>東海地震の強化地域である静岡県に位置している本市においては、県の耐震基準に満たない校舎が7棟残っていたが、全て計画どおり耐震補強工事を実施することができた。</p> <p>耐震補強工事においては、授業に支障が出ないように夏休みにできる限りの工事を行うよう綿密な計画を立てて進めた結果、9月からの授業に支障が出ず工期内に工事が完成し、児童・生徒及び教職員の安全と地区住民の避難所を確保することができた。そして、耐震補強工事と併せて外壁塗装や屋上防水等の老朽改修工事を実施したことで、長期間学校施設としての使用が可能となった。</p>					
今後の方向性	市内すべての小中学校の校舎及び屋内運動場は、耐震基準を満たしたが、今後、校舎の劣化が予想されるため、延命化を図る改修を計画的に進めていきたい。					

教育委員の活動状況報告

教育委員の活動状況報告

1 教育委員会の会議

藤枝市教育委員会では、藤枝市教育委員会会議規則の規定に基づき、月1回の教育委員会会議（定例会）と、必要に応じ臨時会を開催しています。

教育委員会の所掌事務は、「当該地方公共団体が処理する教育に関する事務」（法第23条）と定められており、その範囲は広範であるため一部の事務は「教育委員会の権限の一部を教育長に委任する規則」により教育長に委任されています。したがって、定例会では教育長に委任できない事務について審議をしています。

平成23年度の定例会及び臨時会での審議内容等は以下のとおりです。

【定例会開催回数】 12回 【臨時会開催回数】 4回

【附議件数】 23件

【附議の内容】

No.	案 件	件数
1	教育委員会規則等を制定し、又は改廃すること	3
2	議決を要する議案について市長に意見を申し出ること	3
3	附属機関の委員を任命し、又は委嘱すること	7
4	職員の人事に関すること	1
5	教育に関する一般方針を定めること	1
6	文化財の指定に関すること	1
7	その他	7
	計	23

2 教育委員協議会の開催

教育行政の更なる推進と円滑なる教育委員会の運営を図る目的で、「藤枝市教育委員協議会」を設置しています。協議会は、法上の適用はなく本市の教育行政の当面の課題等について、委員会の審議とは別に制約のない自由な「話し合いの場」として、また「委員の研修の場」として会議や現場視察を実施し、本

市教育委員会の活性化を目指しています。

23年度活動状況は、以下のとおりです。

【教育委員協議会の実施内容】

分類	案 件
I 予算・事業	1 23年度の教育委員協議会の実施内容について
	2 24年度の教育委員会の主要施策について
2 調査・研究	1 教育委員会制度と定例会について
	2 小中学校接続英語教育プラン事業について
3 現場視察	1 ALT 授業参観（藤枝中央小学校 6年1組）

3 学校及び社会教育施設の行事・研修会への参加

毎年行われている、指定校の研究発表会への参加や地元組織が主催し各公民館で開催されるふれあいまつりへの訪問など、学校や地域の現状、情報の収集、相互理解を図る機会でもあり、積極的な参加に務めました。

また、静岡県市町教育委員会連絡協議会が主催する研修会、市及び教育委員会各課館が主催する市民向けの講演会や行事へ参加することにより、教育委員としての資質の向上や自己研鑽にも務めています。

平成24年度
藤枝市教育委員会事業評価報告書

平成25年2月
藤枝市教育委員会

